

令和5年度 高千穂町立高千穂小学校 評価書

A:十分達成(80%以上) B:おおむね達成(70%以上～80%未満)
C:やや不十分(60%以上～70%未満) D:達成不十分(60%未満)

重点目標①【更なる学力向上】

評価指標	評価項目・数値目標	自己評価	結果の考察及び改善策等
1 学力向上プランの確実な実施 2 わかりやすく、児童が安心して取り組むことができる学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導の3つの機能「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」を生かした学習環境の整備に取り組みます。 ○ 特別支援教育の視点(ユニバーサルデザインの視点)による個に応じた授業を充実します。 ○ ICTの活用による指導を充実します。(ICTの利点を生かした授業づくりをします。) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童は意欲的に学習に取り組むことができている。また、児童は学習の中で「わかった」「できた」と実感できていたことも多かった。今後も、児童がわかる・できる授業づくりを目指して、個に応じた学びをさらに進め、指導改善を図りたい。 ○ 高学年の児童を中心に、学習内容に応じて自分からタブレットを使用するなどの主体的な活用が見られるようになってきた。また、1・2年生に電子黒板が導入され、有効に活用されるとともに、ICT機器の活用の幅が広がった。

評価 AABBBB無⇒**B**

学校運営協議会委員コメント

○ 児童のアンケート結果で、進んで学習できており、「わかった」「できた」と思うことがあった子が大半であったので。(⇒B)

○ 生徒の学習能力向上のために、さまざまな分野から取り組まれており、その手法の工夫や改善に向けての努力が評価される。児童アンケートの結果からも、ほとんどの児童が教科内容を理解していることが明らかである。

○ 更に充実を図るために、個々に応じた具体的な方法を示したらどうか。参観した時、各先生方の努力を感じている。電子黒板等も入り、指導技術を磨いて今以上の向上をめざしてほしい。

○ 電子黒板の利用や活用は充分なされてと見受けられる。

○ 特別支援教育視点の授業の充実とともに、学校生活、普段の生活からユニバーサルデザインの視点による表記、掲示物の作成と皆で考え実行する学校になって欲しい。低学年から電子機器の活用により、時代に合った学習が進められ、子供達の身についていると感じられる。

○ 先生方のご指導に感謝します。ICTの活用で授業風景も昔と変わりました。しかし授業に総合学習では直接外部講師や現地に行き児童達が町内の事を学べてとても良い体験が出来ていると思います。先生方のご負担も多いとは思いますが、上手にコーディネーターを活用することが今後の課題かと思しますので『B』を付けさせてもらいました。私も微力ながら協力します。

重点目標②【心の教育の更なる充実】

評価指標	評価項目・数値目標	自己評価	結果の考察及び改善策等
1 人権教育や特別支援教育の充実による友達を思いやる温かい人間関係の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月いじめに関するアンケートを実施し、いじめの未然防止や相談活動に取り組めます。 ○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした全職員による児童理解と支援体制の充実に努めます。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導連絡会やサポート連絡会において、全職員で情報交換を行い、いじめや悩みへの対応を適切に行うことができた。さらに、ケース会を行い、個に応じた支援を積極的に行うことができた。今後も、保護者や関係機関と更に連携していく。
2 基本的な生活習慣の徹底と、道徳科の時間及び読書等を通じた心豊かな活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「高千穂小学校生活のしおり」をもとに、適切な挨拶や廊下歩行等の基本的な生活習慣の徹底を全職員で行います。 ○ 読書環境を整え、読書活動を推進します。 ○ 道徳科を中心に公徳心・生命尊重に関する内容を重点に指導します。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつや正しい学校生活等、ほぼ身につけてきているが、個人差が大きい。不十分なことについては、継続的な指導や個に応じた指導が必要である。 読書活動は十分推進され、個人差はあるものの本に親しむ児童が多くなった。 道徳的な心情を育成するため、授業の充実に努めている。

評価 ABBBBB無⇒B

学校運営協議会委員コメント

○ 読み聞かせは聞く姿勢が本当に良いです。また、明るく挨拶ができ、情緒も安定している子が多いと思います。ただ、朝、時間通りに登校できない子を見かけます。何か抱えている問題があれば解決の方向に導いてあげて欲しいです。

○ 全学を挙げて、いじめ等の防止に努力しており、また個々の生徒の生活指導も良く行われている。従来から行われている読書活動についても今後も続けてほしい。学内での感想文コンテストなどは行われているのでしょうか。保護者へのアンケートの集計結果からも、保護者のほとんどが本学に於ける生徒指導に満足されていることが明らかである。

○ あいさつや規則正しい生活は、学校の指導だけでは難しいと考えます。スポ少指導者や学習塾指導者、地域の役員などと一緒に活動すべきなのでは？

○ 50数年ぶりに同窓生と会ったが、その中の一人がいじめた相手を今でも覚えていると言っていた…。いつまでも尾を引く。早めに見つけて対応するのが望ましい。地域でもよくあいさつはできているのではないかな。但し、個人差はあると思う。継続指導の見直しも必要と思っている。本に親しむ児童が多くなってきていることは喜ばしい事。親しみやすい環境づくりを、更に伸ばしてほしい。

○ 卒業式における卒業生の華美な衣装については、生活保護家庭や準保護世帯がかなりの数いることを考えた時、配慮が必要ではないか。

○ 子供達に対するいじめ防止対策等は、長年の取組により定着されていますが、先生方に対する心の取組はなされているのでしょうか。あいさつ、読書運動は、このまま進めて欲しいです。

○ 神代川方面しか分かりませんが、あいさつは1学期と比べかなり良くなったと思います。ただ、自己評価にも書いてあるとおり個人差(班で様々)があるように思います。いじめにつきましてもこれまで大きな問題が無かったのは先生方の日々のご尽力だと思います。ありがとうございます。

重点目標③【体力の向上と食育・健康教育の推進】

評価指標	評価項目・数値目標	自己評価	結果の考察及び改善策等
1 体力向上プランに基づいた体育的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランをもとに、体育の授業の充実に努めます。 ○ 外遊びを推奨し、日常的に体力を高めようとする意欲の向上を図ります。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の体力向上については、児童の実態に応じたサーキットトレーニングや課題に焦点を当てた指導を、今後も推進していく。 外遊びは、個に応じた外遊びの推奨をさらに進めていく。
2 自他の生命を大事にする健康や性に関する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい生活様式を考慮し、保護者のニーズや児童の課題に応じた学習や保護者と連携した取組を行います。 ○ 養護教諭による健康や性に関する指導を、各学級1回実施します。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザの流行に際しては、マスクの着用や感染防止のための家庭への呼びかけ等を行い、健康で安全な校内環境を整えた。 児童の健康や性に関する指導を進めてきた。
3 望ましい食育教育推進による健康な生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭による食に関する指導を各学級年1回実施するとともに、学級担任以外の職員や支援員と一緒に給食を食べ、望ましい食習慣の形成を目指します。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食指導の時間などに、食育に関する指導を栄養教諭と担任が連携しながら指導を行うことができた。残食はほとんどなく、時間内に食べ終わることができる児童が多い。望ましい食習慣について、家庭への啓発を今後も進めていく。

評価 BBBB無⇒**B**

学校運営協議会委員コメント

- 昼休みに外遊びをする姿をよく見かけます。朝ご飯はちゃんと食べることができているのか少し気になります。
- コロナやインフルエンザの流行の中で、子供達の健康を守り、体力向上を図ることは大変だと思う。「子供は風の子、太陽の子」と言われるよう、特に小学生の頃は外での活動や遊びが重視される時期であるので、できるだけ外での遊びを重視してほしい。
- 現在、地域で、外で遊んでいる子どもが以前よりも少なくなっている。色んな外での遊び方を工夫、紹介しては。親子一緒に取り組むと意義深いし、効果も大きい。これからも続けてもらいたい。肯定的な回答が多い。これからは食育に関しては連携しながら指導をして、良い食習慣を身に付けさせてほしい。
- 外遊びの指導や取り組みがなされており評価出来る。
- 外遊びの楽しさを感じつつ、体力向上していけるよう継続して欲しい。
- 給食につきましては一度食べさせてもらいましたが、とても美味しく児童達が楽しみにしているのも理解できます。体力面につきましては個人差がありますがマラソン大会や運動会を見る限りでは早い子も遅い子も最後まで諦めない姿勢にとっても感動しました。

重点目標④【家庭や地域との連携】

評価指標	評価項目・数値目標	自己評価	結果の考察及び改善策等
1 積極的な情報発信・情報共有等による社会に開かれた教育課程の実施	○ 新聞等への児童の作品の投稿、ホームページやマチコミによる情報発信をします。また、地域の方々の協力・理解を得ながら地域に関する学習を実施します。	B	○ 学校のホームページやマチコミによる情報発信をこまめに行ってきた。悪天候時の対応については、年度初めに保護者と確認しておく必要がある。地域に関する学習を、外部講師に依頼することで、外部講師と連携を図りながら授業をすることができた。
2 地域人材の積極的な活用や幼稚園・保育園等及び中学校・高校との連携による、つながりのある教育の推進	○ 新しい生活様式に対応しながら、地域人材と協力してふるさと学習を実施します。 ○ 町福祉保険課・町教育委員会等と連携を図りながら、幼稚園や保育園、中学校、高校と連携した教育活動を行います。		○ 地域の方の協力を得て、伝承活動や地域学習を進めてきた。今後もさらに、キャリア教育・地域学習を更に推進していく。 幼保小中高との連携を、学校全体で見直し、より積極的・組織的に行っていきたい。

評価 ABBBBBC⇒**B**

学校運営協議会委員コメント

○ 授業以外の生活での地域との関わりは個人差があるのではないかなと思う。ある子はある、ない子はまったくない。また、中学生、高校生とのつながりをもっと深めて欲しい。同じような探究活動をそれぞれでやっているの、リンクさせても面白いと思う。単純に一緒に遊ぶような機会も欲しい。中学生、高校生の姿を見て、順番で次は自分たちが小さい子の世話をするんだという自覚が芽生えてくれればいいと思う。

○ 地域との連携促進に関しては教師の負担増にも繋がるので、より慎重に進めるべきだと思うが、生徒達が社会を知り、また古里のすばらしさを知る契機にもなると思うので、今後も是非実行してほしい。学校から地域への発信を継続的に行えば、まだまだ協力的な町民も多いと思われる。

○ HPの更新頻度は申し分なく素晴らしいと考えます。是非続けてほしい。(学校の行事や給食を知ることができる。)神楽や棒術、なぎなた、(わらじ)や(しめなわ)などの伝統工芸(芸能)を披露する行事が運動会、文化祭以外にあってもいいのでは？

○ 以前にも出た意見かと思うが、オープンスクール等々の様子も、テレビ高千穂で流したりはできないものか。住民にとっても、より学校が身近に感じられる様になると思うのだが…。地域の人にとっても、学校に行く事、子どもとふれ合う事、大変貴重な機会でもある。地域の人材活用とふるさと学習を益々充実させてほしい。

○ 情報発信のきめ細かな発信は、高く評価出来る。

○ 情報発信により、学校生活、活動が見えやすくなった。地域との関わりも増えていると思います。学校以外、地元地域での活動、関わりが持てると更に良いと思います。

○ いつもマチコミによる情報提供ありがとうございます。全家庭に情報を共有することはとても大事な事だと思います。中学校にもいえる事なのですが、各校で大きな行事がある場合は事前に把握が大事だと思います。

重点目標⑤【教職員の資質向上】

評価指標	評価項目・数値目標	自己評価	結果の考察及び改善策等
1 指導力向上のための研修の充実	○ 互いに授業を見合ったり、指導法の情報交換をしたりすることで、一人一人の指導力の向上を目指します。	B	○ 研究授業の機会に授業を見合うことはできた。また、日頃から指導法の情報交換はできている。今後もさらに授業を見合ったり、情報交換したりできる環境づくりをしていく。
2 ワークライフバランス	○ 教職員一人一人が自分の労働時間を意識して働くことで、余暇の時間を充実させ、さらに魅力ある人間になるよう努力します。		○ 研修をとおして、働き方改革へ向けた教員一人一人の意識を高めていく。また、業務内容を見直し、組織的に分担したり協働したりすることで、個人の労働時間を軽減し、より魅力ある人間となるように、働き方改革を推進していく。

評価 AABBB無無⇒B

学校運営協議会委員コメント

- 全般的に先生方の表情が明るい。それが何より大切。そして一生懸命よりよい活動しようとしている様子が見受けられる。
- 先生方へのアンケート結果からも明らかなように、授業の工夫、生徒指導の充実に向けた日々の努力は充分評価される。今後、研究授業の際には、年に数回程度でも学校運営協議会の委員も参加させてほしい。
- これからも指導法の情報交換をしっかり行えば良いと思います。地域でも教員の仕事量の膨大さは理解が進んでいる。労働時間の軽減に協力したい。
- 情報交換をしながらの指導法は大変良いと思う。先生方に期待する。労働時間を軽減する事も大変な事だと思う。しかし余暇の時間は必要。余暇を充実させて、指導法を益々充実努力してもらいたい。
- 先生方の負担を軽減することで、よりやりがいを持って子供達と接することができるよう、自身の家庭生活も充実できるようにあって欲しい。
- 先生方のご指導やご協力については『A』です。ただ手厚いご指導やご協力故に先生方が日々残業されているのも事実です。遠方から来られる先生やご家庭がある先生がたくさんいらっしゃいます。児童達もそうですが先生方も高千穂小学校の宝ですのでご無理のない範囲でお願いしたいと思います。